

# 各 駅 停 車

福祉と障がいのある方を理解するための情報紙

社会福祉法人 豊田市福祉事業団  
No.30 2009. 9. 10 (季刊)

## 障がい者総合支援センター 暖

重症心身障がいのある18歳以上の方が、家庭から通う施設です。利用者一人ひとりが自分らしい暮らしを見つけながら、地域の中でよりスムーズに社会生活を送ることを目指しています。

(豊田市平芝町5-13 TEL0565-37-1781)

### 活動紹介

暖では、“障がいが重くても、社会の一員として活躍できる場をつくり、その役割を支援したい”という思いから、『今までにない新たな働き方』を模索しています。

今回はその中から「空き缶回収」と「パン販売」を紹介します。

地域住民の方と利用者の方との交流を通して、地域の方に障がいのある方への理解を深めてもらい、誰もがいきいきと暮らせる社会を目指し、地域交流活動を展開しています。

### 空き缶回収



一昨年から、平芝地区の方に協力をしていただいています。自宅にみえる方は手渡しで、留守の時は門扉に空き缶をかけておいてくださいます。

声をかけてくださる方が増え、空き缶をいただく以上に、地域の方とお話できることが喜びになっています。



### パン販売

けやきワークスで製造されたパンを若草苑さんや、三九朗病院デイサービスセンターさん、サンホーム豊田さんで出張販売をしています。利用者販売員は、お客さんとのふれあいを喜びに「袋に入れて渡す」「笑顔でお礼を伝える」などの役割で、達成感を味わっています。

販売先のお客さんは、パンと利用者の笑顔を楽しみにしてくださっています。





暖では『障がい者が地元で溶け込む社会を築くこと』を大切に考えています。そのひとつとして、利用者の交流館サークルへの参加活動を支援しています。

自宅近隣の交流館のちぎり絵サークルに参加しているAさんは、紙をちぎったり、のりで貼ることが得意です。交流館へ到着すると、先生やサークルメンバーの方に挨拶をし、いつもの席に座ります。活動中は終始和やかで、笑いがたえません。作品が難しいと、隣の席の方が「ほれ、ここをこうするときれいになるでね」と教えてくださり、作品が出来上がると、先生やサークルメンバーの方が「上手にできたねー」「本物みたいだねー」と褒めてくださるので、Aさんもとても嬉しい様子です。

今年で5年目、今では「この前お休みだったから、寂しかったわー」「次は〇日だでね」「交流館祭に作品を出してね」と声をかけてもらっています。こうした同じ地域に暮らす住民同士としてのやりとりが垣間見られ、支援者として心が温かくなります。

## トピックス

### 第14回豊田市子ども発達センター公開セミナー

テーマ 「楽しい食事をするために ～子どもの発達と特性に合わせた食育～」

- 日時 平成21年11月15日(日) 午前10時～午後4時
- 場所 豊田市子ども発達センター ひまわり 2Fホール
- 定員 先着200人
- 参加費 無料
- 内容
  - 基調講演 「食べる機能を育む～上手に食べるとは?～」  
講師 昭和大学歯学部口腔衛生学教室 准教授 弘中 祥司氏
  - シンポジウム 「楽しい食事をするために ～それぞれの立場から～」  
シンポジスト ①小山 豊美氏 (保護者)  
②溝口理知子 (保護者・豊田市子ども発達センター歯科衛生士)  
③海老子里美 (豊田市子ども発達センター管理栄養士)  
④齋藤 啓子 (豊田市子ども発達センター作業療法士)
  - 助言者 弘中 祥司氏  
コーディネーター 三浦 清邦 (豊田市子ども発達センター 小児神経科医師)
- 申込方法 平成21年9月7日(月) 午前9時～10月末日までに (定員になり次第締め切り)
  - (1) インターネットの場合 豊田市福祉事業団ホームページから  
<http://www.fukushijigyodan.toyota.aichi.jp/>
  - (2) 往復はがきの場合
    - 往信はがき  
①氏名(ふりがな) ②住所 ③連絡先 ④保護者/支援者(勤務先・職種)などのお立場  
⑤施設見学希望の有無 ⑥交通手段 ⑦手話通訳の必要の有無 ⑧講師・シンポジストへのご質問
    - 返信はがき  
表面に返信先の住所、氏名をご記入ください。
- 申込先 豊田市子ども発達センター 公開セミナー事務局  
〒471-0062 豊田市西山町2-1-9
- 問合せ先 公開セミナー事務局 (永井)  
TEL:0565-32-8980 FAX:0565-32-8987

